

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和３年度 第２回会議 会議録

[期日] 令和３年 12 月 15 日(水)

[時間] 午後 3 時 00 分～ 4 時 00 分

[場所] 市役所 4 階大会議室

[出席委員]

氏 名	備 考
浅沼 紀子	
黒川 洋子	
齋藤 守彦	
立野 慶子	
速水 昭雄	

(アイウエオ順・敬称略)

[欠席委員]

氏 名	備 考
上野 ひろ子	
角田 佐智子	
長谷川 裕一	

(アイウエオ順・敬称略)

[市関係者]

氏 名	所属・職	備 考
大久保 孝雄	経営企画部長	
滝口 俊孝	経営企画部経営企画課長	
岡安 泰弘	経営企画部経営企画課主幹	
内木 久美子	経営企画部経営企画課秘書広報係長	

[傍聴者] 2 名

[会議資料]

■事前配付分

- 1 次第
- 2 資料1 第3次鴨川市男女共同参画計画（素案）
- 3 鴨川市男女共同参画推進審議会令和3年度第1回会議 会議録

■当日配付分

- 4 出席者名簿
- 5 席次表

1 開会（午後3時00分）

配付資料の確認後、鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針により、会議を公開とするほか、傍聴並びに報道機関による取材を許可し、会議録作成のために録音する旨を説明した。

2 会長あいさつ（要旨）

委員皆様には、師走のお忙しいところ、第2回会議にご出席頂き、感謝申し上げます。前回は、第3次男女共同参画計画の骨子案についてご協議頂いた。今回は、計画の素案を議題として、より具体的な事業内容等についてご協議を頂くこととなる。それぞれのお立場から忌憚のないご意見・ご質問をお願い申し上げます。

3 議事

鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定に基づく会議の成立を司会から報告した後、同条第1項の規定に基づき、速水会長が議長となって議事を進行した。

また、議長から、浅沼紀子委員及び黒川洋子委員を会議録署名委員として指名した。

議事（1） 第3次鴨川市男女共同参画計画（素案）について

資料1により、事務局から説明し、資料のとおり承認した。

コメント及び質疑等は次のとおり。

（浅沼委員）

計画の内容の44ページ、「④男女共同参画の意識を高める生涯学習の充実」にある図書館の図書を充実させるという箇所について、男女共同参画社会はSDGsとの関係が深いので、図書の整備や展示の工夫に加えてもらえると良い。

（事務局）

図書館へのヒアリングを行い、SDGs関連の図書整備や展示についての現状を確認し、計画の事業内容に加えられるかを検討して参りたい。

(立野委員)

58 ページ、「高齢者・障害者、外国人等が安心して暮らせる環境整備」の 2 番目、「高齢者・障害者の社会参画の促進」に関して、老人クラブさんの数が減っていると聞いているが状況はどうか。コロナの影響で集まりごとが減っていく中で、老人クラブが衰退していくのではないかと心配する市民の声もある。

(事務局)

老人クラブの数や活動状況の詳細についての情報・数値は持ち合わせていないが、老人クラブ・シルバー人材センターの活動について、福祉課からは前回の計画と同様に進めたいとの意向を得ている。すべてのイベントや行事に関係するが、コロナの影響を受けにくい方法など活動の仕方を工夫して事業を進めるよう、各事業担当課に指導して参りたい。

(齋藤委員)

36 ページの成果指標について、11 番から 15 番を新しく追加したということは良いと思う。13 番、14 番の成果指標で「自分が健康だ」の「健康」という定義について、例えば、どのような状態になると「健康」と言えるのか。その定義によって目標値も大きく変わってくる。薬飲んでる人は健康でないということであれば、ほとんどの人が健康じゃない可能性もある。アンケートの内容から「健康」の定義確認をした方が良いと思う。

(事務局)

13 番、14 番の成果指標は、第 4 次 5 か年計画に掲載の指標であり、当計画の基本目標Ⅲと合致する部分があることから、高齢者のみならず 40～60 歳の方の割合についても指標として設定した。どのような状態において自分が健康なのかというご指摘については、アンケートの設問等を調べ、次回会議で報告したい。

(黒川委員)

61 ページの防災の備品に関して、自分たちの時の活動は、各地区の避難場所を確実に調べ、地域の方に備品を渡していたが、備蓄品までは至っていなかった。今回の計画では、若い世代の発想により備蓄品が具体的に記載されたのは素晴らしいことと思う。

(事務局)

男女共同参画視点からの防災対策は、この数年間で大きな注目を浴びており、何らかの積極的な施策を入れていきたいという思いから、危機管理課とのヒアリングを実施しながら、事業内容を検討したものである。

(齋藤委員)

56 ページの「②自営業における男女の経営参画の促進」に、「商工会等の関係団体と連携し」とあるが、具体的にはどのような取組をしてきたのか。

(事務局)

県や内閣府が作成した女性の起業支援、オンライン講座等に関するチラシの配布のほか、それらの案内をホームページ等で公表するなどの取組を行っている。

(速水議長)

去年に続き今年もコロナの影響で、事業の縮小や、やりづらいことがあったと思うが、何らかの影響があったか。また、どのような対策を行ったか。

(事務局)

チラシ等の受け渡しを伴う啓発活動が中止となるなどの影響があった。その代わりに市政協力員を通じた啓発チラシの回覧、県から男女共同参画やDV関係のパネルを借用し、市役所のロビーで展示を行うなどの対応をした。男性のための料理教室など、代替の行事が行えないものもあるが、事業としては維持し、コロナが収束した段階で復活できればと考えている。

今後も千葉県男女共同参画センター主催のオンライン講座や講演会を活用し、有益な情報を市民に提供して参りたい。

(速水議長)

オンライン講演会の成果というか、参加した方たちの意見などが少しでも集約できれば良い。これからこういうことも多くなってくると思うのでお願いしたい。

(事務局)

承知した。

(浅沼委員)

男性の育休を積極的に取得してもらいたい。来年の10月からは出産休暇も取れるとの話もある。女性の出産・育児だけでなく、市役所の男性職員にも積極的な取得をお願いしたい。

(事務局)

資料の50ページ下段「市役所における育児・介護休業等に関する職場環境の整備」において、「育児・介護休業制度、育児・介護のための勤務時間短縮等の措置や時間外労働の免除の請求をすることができる制度等について、職員への周知・定着を推進して参ります」との記載があり、これに沿って取組を進めて参りたい。

(浅沼委員)

市職員だけでなく、地域の事業者にも、ぜひ積極的に推進して頂きたい。

(事務局)

商工観光課や農林水産課など市担当者自身が男女共同参画に関する知識を高めることで、

そこから、商工観光団体や農林水産団体への周知につなげることができる。千葉県でも各自治体に講師を派遣する用意があることから、総務課との連携により、職員研修を実施して参りたい。

また、53 ページ「④地域が一体となった子育て支援体制の充実」の中に、事業所等に対する広報・啓発として、育児休業や介護休業の取得に対する広報・啓発を商工観光課が取り組むこととしている。

(立野委員)

55 ページ「雇用の場における男女の機会均等と待遇の確保のための環境づくり」のところの4番目「雇用の場の充実」の「市内における就労の場が充実するよう企業の誘致に努めるとともに」の箇所について、コロナの影響を受けている企業もあるかとは思いますが、若い方がここにとどまれるような企業の誘致をぜひ進め、雇用の場の充実を図って欲しい。

(速水議長)

市の企画課や商工課が率先してアイデアを出して欲しい。各地でも画期的な取組をやっており、地域振興に大きな役割を果たしているので参考にするといい。

(浅沼委員)

パソナが淡路島に本社移転した事例ではないか。NHK のドキュメンタリーで放映していた記憶がある。

(立野委員)

空き家も増えており、市からも空き家活用のチラシが回覧されてきた。それらを活用できるような人に住んでもらう。税収を増やすためにも、ここに住みたいと思えるまちづくりを目指してもらいたい。

(速水議長)

私自身、東京から鴨川市に移住している。鴨川の魅力は素晴らしい環境であり、それをPR する事業なども進めて欲しい。

(事務局)

現在、雇用の場の創出が鴨川市の大きな課題となっており、これに対し平成 28 年度頃から CCRC という取組を行っている。その成果と言えるかわからないが、浜荻地区に 11 月、パークウェルステイト鴨川が立地した。今後、移住者の増加と新たな雇用の場の創出、消費拡大による経済振興が図られるものと考えている。

遊休施設のうち旧太海小学校については、活用事業者の公募を行い、現在、工事が進められている。また、フィッシャリーナ後背地では魅力体験広場を整備しており、先般、事業者公募を実施したことから、今後、報告ができるものと思っている。

空き家は、まちづくり推進課が担当しており、先般チラシを作成した。現在の登録は 3、4 軒のみとなっており、保有物件が少ない状況にある。うち 1 軒は売却、1 軒は交渉中と

いう状況である。引き続き、空き家登録を呼びかけていくので、そのような物件があったらまちづくり推進課へ情報提供をお願いしたい。

（黒川委員）

母がかつて一人で太海に住んでいた。南小町の施設で世話になり始めたときに、貸してくれと、住まわせてくれとの電話が何件かあった。夫としては母親が生きているうちは家を処分したくないと考えており、このような電話に困っている。

（速水議長）

空き家をしっかりと登録し、PRすることで必要な方に情報が届き、また、空き家に関するトラブルも防ぐことができるのでは。

（事務局）

今後も物件の把握と登録に努めて参りたい。そのような問い合わせがあったら、空き家バンクを紹介頂きたい。

（速水議長）

浜荻の高層マンションは入居者を募集していると聞いたが状況はどうか。見学会を行ったらしいが。

（事務局）

事業所に確認したところ、11月から、一気に埋めるという形ではなく、段階的に運営をしていく形で入居者を募集している。部屋数は500弱位だが、そこまで入居していないと聞いている。また、オープン前に見学会を開催している。

（速水議長）

一気に埋めるような募集をしないというのは、入居者を集めるのが大変だからということか。建物は完成しているようだが。

また、浜荻のほかにもう一つ何かあると聞いたことがあるが、そういう計画を承知しているか。

（事務局）

担当者の話では入居希望は多いと聞いている。ただ、一度に多くの人数を受け入れるというのは、施設側の環境やサービスの提供が追いつかないという旨を話していた。

他の施設計画については、承知していない。

（黒川委員）

長狭地区に勤めているが、お客に高齢者が多く、股関節を痛めたり足を引きずっているのを見聞きする。費用負担がなく、お年寄りが気楽に運動できる場所があればいいと思う。運動したことのない人は、なかなか一歩が踏み出せないという点も課題である。

(事務局)

健康推進課が担当となり、例えば旧大山小学校を会場として、スロトレなど地域の方々が自発的に講師を招き健康運動を実施するなどの取組を行っている。

また、スポーツ振興課が関連する団体としてウェルネススポーツ鴨川が定期的に一般の方々向けのスポーツ講座やイベントを開催しているので、それらへの参加も可能である。

その他、長狭地区で言うと、新国保病院の中に「福祉総合相談センター長狭」を設置する予定があり、そこが中心となって、介護予防的な取組にも今後取り組んでいくこととなる。そういった機会を活用して頂きたい。

4 その他

事務局から、「計画（素案）に係る意見等提出票」についての説明があった。また、第3回会議を1月下旬頃に開催したい旨の報告と、日程調査表への依頼があった。

5 閉会（午後4時00分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、男女共同参画推進審議会第2回会議における会議録の内容について確認します。

令和4年1月17日

浅沼 紀子

黒川 洋子